

## 千葉県

### - 千葉県の商業集積地区では駅周辺型が多い -

千葉県の事業所数をみると、卸売事業所の18.8%、小売商店の13.8%を千葉市が占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の39.6%、小売業の19.5%を千葉市が占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区が41.0%と高い割合になっています。商業集積地区の内訳では駅周辺型が50.1%とほぼ半数となっています。

販売品目をみると、卸売品目では「電気機械器具(家電を除く)」、「鉄鋼一次製品」などの工業製品があるほか、「生鮮魚介」、「野菜」などの生鮮品もみられます。小売品目では「飲食料品」、「料理品」、「飲料」などの飲食料関連や「婦人服」などが上位に入っています。

#### 1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

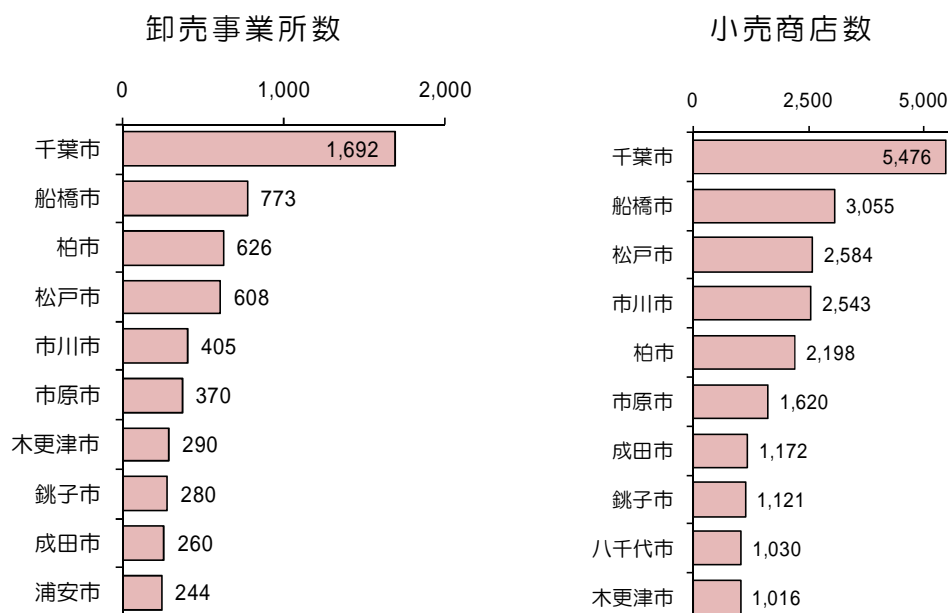
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
千葉県計	48,596	9	442,302	9	12,322,192	9	
業種別	卸売業計	8,993	10	87,479	11	6,567,201	12
	各種商品卸売業	35	8	322	10	14,653	16
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	30	24	123	27	2,367	31
	衣服・身の回り品卸売業	246	14	2,199	16	75,514	13
	農畜産物・水産物卸売業	1,541	6	15,032	8	1,015,366	9
	食料・飲料卸売業	1,074	10	12,530	10	914,719	11
	建築材料卸売業	1,432	9	9,661	9	635,329	8
	化学製品卸売業	358	12	2,663	12	244,633	11
	鉱物・金属材料卸売業	477	11	5,302	8	643,820	12
	再生資源卸売業	264	10	2,287	8	81,697	11
	一般機械器具卸売業	595	13	5,338	13	337,780	13
	自動車卸売業	577	10	6,462	8	694,566	5
	電気機械器具卸売業	404	12	5,476	11	389,870	15
	その他の機械器具卸売業	269	12	2,371	12	154,340	12
	家具・建具・じゅう器等卸売業	353	12	2,682	13	126,397	12
	医薬品・化粧品等卸売業	376	11	6,297	10	560,573	10
	他に分類されない卸売業	962	13	8,734	13	675,577	10
	小売業計	39,603	9	354,823	7	5,754,991	7
	各種商品小売業	247	3	48,527	5	820,666	6
	織物・衣服・身の回り品小売業	5,948	9	28,966	7	410,108	7
	飲食料品小売業	13,747	9	139,258	7	1,782,553	7
	自動車・自転車小売業	2,920	10	22,162	7	661,526	6
	家具・じゅう器・機械器具小売業	3,163	9	18,151	8	428,138	8
	その他の小売業	13,578	9	97,759	8	1,651,999	7
	医薬品・化粧品小売業	2,906	9	20,531	8	383,740	7
	農耕用品小売業	492	5	2,447	3	58,747	4
	燃料小売業	2,032	5	14,017	7	460,892	7
	書籍・文房具小売業	1,749	9	22,394	8	169,697	8
	スポーツ用品・かん具・娯楽用品・楽器小売業	1,214	7	7,949	6	133,568	6
写真機・写真材料小売業	112	11	581	6	7,900	5	
時計・眼鏡・光学機械小売業	781	9	2,996	9	38,341	7	
他に分類されない小売業	4,292	9	26,844	4	399,115	4	

## 2. 市町村別の状況

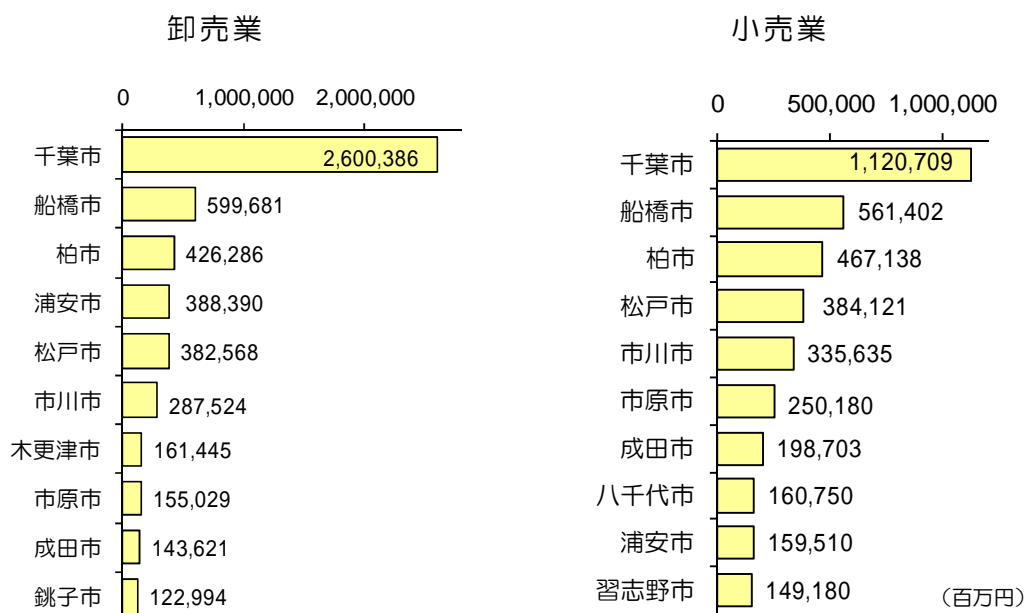
千葉県の事業所数をみると、卸売事業所の18.8%を千葉市が占め、次いで、船橋市、柏市の順となっています。小売商店は、13.8%を千葉市が占め、次いで、船橋市、松戸市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業の39.6%、小売業の19.5%を千葉市が占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

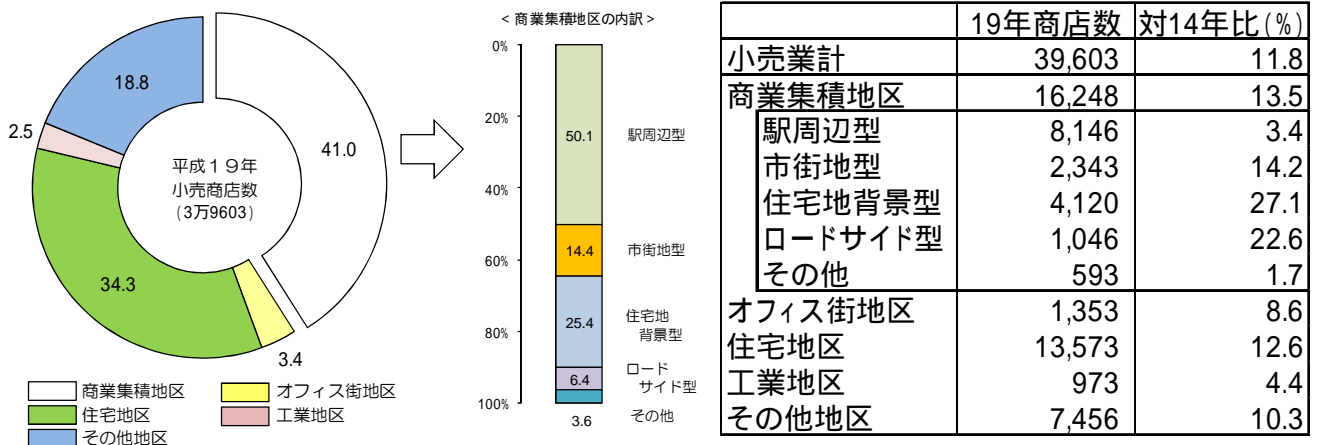


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



### 3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が41.0%と最も高くなっています。商業集積地区の内訳では、駅周辺型の割合が50.1%と高い割合となっています。また、オフィス街地区の商店数は増加しています。



### 4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「乗用車」、「鉄鋼一次製品」、「生鮮魚介」、「野菜」など工業製品、農水産品など多様な品目が上位に入っています。

小売品目では「他の飲食料品」、「料理品」、「飲料」など食料品関連のほか、「婦人服」も上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

